

グループ紹介

地域に根ざした活動を行っているグループを紹介します。
掲載を希望されるグループは議会事務局（TEL 820-5630）までご連絡ください。



～ 登山道整備は故郷づくりの一環 ～

地域の活動グループ 『プロジェクト三石山』

みついわ



▲3月22日にロープ設置と完工踏査を行い、記念撮影

■地道な活動

昨年9月に発足した「プロジェクト三石山」。三石山の登山道整備を中心とした活動を行う、ボランティアグループです。

三石山は町民グラウンド横に位置し、山頂には3つの巨岩が存在します。山頂からは360度が見渡せ、眼下にはかつての熊野七郷（明治の大合併前の7村）をしのぶことができます。そんな三石山での活動の第一弾は、山に生える木の名前調査から。調べた木には一つずつ名

札をつけました。その後は、草の刈払いや山頂からの距離測定、そして、案内表示板やロープの設置なども行いました。特に、山頂と麓には看板を設置し、この辺りの地理や歴史が分かるようにしました。

資材を運んだりするような大変な作業が続きますが、会員は現在60名を超えています。

「みんなで力をあわせ、故郷づくりですよ。」と代表をつかさどる、川角自治会長の織田さん。



▲地理や歴史を記した山頂の看板

■故郷を誇りに

かつて、故郷を離れて東京で働いていた織田さん。そこは開発が進み、大きな団地がいくつもできましたが、住人は地方からの方が大多数。その方たちはそれぞれ故郷を持ちますが、子ども達には団地が故郷。故郷の意義と大切さを改めて認識しました。

一方、川角も今では大半の世

帯が新しい団地に住まわれています。縁あって川角に住まわれた方に、まずは、地域のことを知ってもらいたい。そして、この地に住んで良かったと感じ、故郷として誇りに思ってもらいたい。そんな思いの延長線上に、プロジェクト三石山は始まっています。

■これからの活動

今後は、階段や展望台を設置し、看板も恒久的なものにしたなど、やることはたくさんあります。この日も鎌を片手に登山道を歩き、危険箇所の調査などに汗を流しました。

「熊野町の方には一人でも多く登って欲しい。」と織田さん。郷土について知ってもらい、故郷に愛着を持つ人を一人でも増やすため、グループの活動はこれからも続きます。



▲山頂から今後の抱負を語る織田さん

問合せ先

織田 寛治
電話 854-2743

あとかき

今回のシリーズ石造物は蛙が登場します。田んぼの蛙の大合唱にもようやく耳が慣れた頃ですが、雷や激しい雨音には、恐くて耳は慣れませぬね。近年はゲリラのような豪雨が各地で多発しています。大雨の日の通勤通学には、十分に気をつけて。また家の周囲に危険な場所はないか点検もするよう心がけましょう。

もうすぐ梅雨明けです。みなさん無事に猛暑を乗り切りましょうね。

伊藤 真由美

※議会について詳細に知りたい方は、議会事務局までお尋ねください。
電話 820-5630

次の定例会は、

9月8日(水曜日)

開会を予定しています

議会だより題字

世木田江山さん

表紙写真

誠和園、和楽園での交流会
(保育所ひかり学園)